

# 岐阜県公報

## 目次

### 規則

岐阜県精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則の一部を改正する規則

(保健医療課)

一頁

## 規則

岐阜県精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和六年四月一日

岐阜県知事 古田 肇

岐阜県規則第三十一号

岐阜県精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則の一部を改正する規則

岐阜県精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則(昭和六十三年岐阜県規則第四十六号)の一部を次のように改正する。

第七条の見出しを「(医療保護入院届等)」に改め、同条中「第三十三条第七項」を「第三十三条第九項」に改め、「よるものとし」を削り、「特定医師による医療保護入院者(第三十三条第一項・第三項又は第三十三条第二項・第三項)の入院届及び記録」を「特定医師による医療保護入院者の入院届及び記録」に改め、「別記第七号様式」に「の下に」同条第六項の規定に係るものにあつては医療保護入院者の入院期間更新届(別記第七号様式の二)に」を加える。

第九条中「第三十三条の七第五項」を「第三十三条の六第五項」に、「特定医師による応急入院(第三十三条の七第二項)届及び記録」を「特定医師による応急入院届及び記録」に改める。

第十二条を次のように改める。

第十二条 削除

別記第三号様式中「~~不届届出~~」を削り、「強制性交等」を「不同意性交等」に、「~~不届届出~~」を「不同意性交等」に改める。

第6号様式 (第7条関係)

医療保護入院者の入院届

年 月 日

岐阜県精神保健福祉センター所長 様

病院名  
所在地  
管理者名

下記の者が医療保護入院しましたので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条第9項の規定により届け出ます。

医療保護入院者	フリガナ			生年月日	年 月 日生 (満 歳)
	氏 名	(男・女)			
	住 所	都道府県	郡市区	町村区	
家族等の同意により入院した年月日	年 月 日		今 回 の入院年月日	年 月 日	
今回の医療保護入院の入院期間	年 月 日まで		入院形態		
第34条の規定による移送の有無	有 り		な し		
病 名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ( )	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ( )	3 身体合併症		
生活歴及び現病歴 (推定発病年月、精神科受診歴等を記載すること。) (特定医師の診察により入院した場合には特定医師の採った措置の妥当性について記載すること。)	(陳述者氏名 続柄 )				
初回入院期間	年 月 日～		年 月 日 (入院形態 )		
前回入院期間	年 月 日～		年 月 日 (入院形態 )		
初回から前回までの入院回数	計 回				
〈現在の精神症状〉	I 意識				
	1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう				
	4 その他 ( )				
	II 知能 (軽度障害、中等度障害、重度障害)				
III 記憶					
1 記銘障害 2 見当識障害 3 健忘					
4 その他 ( )					
IV 知覚					
1 幻聴 2 幻視 3 その他 ( )					

別記第五号様式中「訪問看護」を「訪問看護」に改める。

別記第六号様式を次のように改める。

〈その他の重要な 症状〉 〈問題行動等〉 〈現在の状態像〉	V 思考	1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考 5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 ( )
	VI 感情・情動	1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他 ( )
	VII 意欲	1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止 6 無為・無関心 7 その他 ( )
	VIII 自我意識	1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 ( )
	IX 食行動	1 拒食 2 過食 3 異食 4 その他 ( )
		1 てんかん発作 2 自殺念慮 3 物質依存 ( ) 4 その他 ( )
		1 暴言 2 徘徊 3 不潔行為 4 その他 ( )
		1 幻覚妄想状態 2 精神運動興奮状態 3 昏迷状態 4 統合失調症等残遺状態 5 抑うつ状態 6 躁状態 7 せん妄状態 8 もうろう状態 9 認知症状態 10 その他 ( )

医療保護入院の 必 要 性	
(患者自身の病気 に対する理解の 程度を含め、任 意入院が行われ る状態にないと 判断した理由に ついて記載する こと。)	

入院を必要と認めた 精神保健指定医氏名	署名
------------------------	----

選任された退院後 生活環境相談員の氏名	
------------------------	--

同意をした家族等	氏名	(男・女)	続柄	生年 月日	年 月 日生	
		(男・女)	続柄		年 月 日生	
	住所	都道 府県	郡市 区	町村 区		
		都道 府県	郡市 区	町村 区		
1 配偶者 2 父母(親権者である・ない) 3 祖父母等 4 子・孫等 5 兄弟姉妹 6 後见人又は保佐人 7 家庭裁判所が選任した扶養義務者(選任年月日 年 月 日) 8 市町村長						

審 査 会 意 見	
岐 阜 県 の 措 置	

## 記 載 上 の 留 意 事 項

- 1 内は、精神保健指定医の診察に基づいて記載すること。  
ただし、第34条の規定による移送が行われた場合は、この欄は、記載する必要はないこと。
- 2 今回の入院年月日の欄は、今回貴病院に入院した年月日を記載し、入院形態の欄にそのときの入院形態を記載すること。（特定医師による入院を含む。その場合は、「第33条第1項・第3項入院」、「第33条第2項・第3項入院」又は「第33条の6第2項入院」と記載すること。）なお、複数の入院形態を経ている場合には、順に記載すること。
- 3 今回の医療保護入院の入院期間の欄は、家族等の同意により入院した日から3月を上限とした年月日を記載すること。
- 4 生活歴及び現病歴の欄は、他診療所及び他病院での受診歴をも聴取して記載すること。
- 5 平成20年3月31日以前に広告している神経科における受診歴を精神科受診歴等を含むこととする。
- 6 初回及び前回入院期間の欄は、他病院での入院歴・入院形態をも聴取して記載すること。
- 7 現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等及び現在の状態像の欄は、一般にこの書類作成までの過去数か月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。
- 8 入院を必要と認めた精神保健指定医氏名の欄は、精神保健指定医自身が署名すること。
- 9 家族等の氏名欄は、親権者が両親の場合は、原則として2人目を記載すること。
- 10 家族等の住所欄は、親権者が両親で住所が異なる場合に2つ目を記載すること。
- 11 選択肢の欄は、それぞれ該当する算用数字、ローマ数字等を○で囲むこと。

「特定医師による医療保護入院者（第33条第1項・第3項又は第33条第2項・第3項）の入院届及び記録」

医師による医療保護入院者の入院届及び記録

管理者名

下記の者が、特定医師の障害者福祉に関する法律第

管理者名

診察の結果、医療保護入院しましたので、精神保健及び精神

33条第9項の規定により届け出ます。

又は神経科」

「選任した者」や「選任した扶養義務者」又は「回診記録上の医療事務員  
」や「第33条の7第2項」や「第33条の6第2項」又は「回診記録上の医療事務  
員」や「2人目」や「原則として2人目」又は「回診記録上の医療事務員」や  
「事後審査委員会意見は、記録の場合について記載する」や「事後審査委員会意見の  
欄は、岐阜県精神保健福祉センター所長への届出時点では記入を要しないが、本様式を  
院内で記録として保存する際には、記載しておく」又は「回診の次の次の様式を  
用いる」。

第7号様式の2 (第7条関係)

## 医療保護入院者の入院期間更新届

年 月 日

岐阜県精神保健福祉センター所長 様

病 院 名

所 在 地

管 理 者 名

下記の医療保護入院者の入院期間を更新しましたので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条第9項の規定により届け出ます。

医療保護入院者	フリガナ			生年月日	年 月 日 (満 歳)
	氏 名	(男・女)			
	住 所	都道 府県	郡市 区	町村 区	
医療保護入院年月日 (第33条第1項・第2 項の規定による入院)	年 月 日		今 回 の 入院年月日	年 月 日	
			入 院 形 態		
入 院 届 又 は 前回の入院期間更新届での 入 院 期 間	～	年 月 日 年 月 日	本更新後の 入 院 期 間	年 月 日まで	
病 名	1 主たる精神障害	2 従たる精神障害	3 身体合併症		
	ICDカテゴリー ( )	ICDカテゴリー ( )			
入院又は前回更新日 からの治療の内容と、 その結果(更新前の入 院期間に係る病状又 は状態像の経過の概 要)					
症 状 の 経 過	1 悪化傾向 2 動揺傾向 3 不変 4 改善傾向				
〈現在の精神症状〉	I 意識 1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他 ( ) II 知能 (軽度障害、中等度障害、重度障害) III 記憶 1 記銘障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他 ( ) IV 知覚 1 幻聴 2 幻視 3 その他 ( ) V 思考 1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 減裂思考 5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 ( ) VI 感情・情動 1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他 ( )				

<p>〈その他の重要な症状〉</p> <p>〈問題行動等〉</p> <p>〈現在の状態像〉</p>	<p>VII 意欲</p> <p>1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止</p> <p>6 無為・無関心 7 その他 ( )</p> <p>VIII 自我意識</p> <p>1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 ( )</p> <p>IX 食行動</p> <p>1 拒食 2 過食 3 異食 4 その他 ( )</p> <p>1 てんかん発作 2 自殺念慮 3 物質依存 ( )</p> <p>4 その他 ( )</p> <p>1 暴言 2 徘徊 3 不潔行為 4 その他 ( )</p> <p>1 幻覚妄想状態 2 精神運動興奮状態 3 昏迷状態</p> <p>4 統合失調症等残遺状態 5 抑うつ状態 6 躁状態</p> <p>7 せん妄状態 8 もうろう状態 9 認知症状態</p> <p>10 その他 ( )</p>
---------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>医療保護入院の 必 要 性</p> <p>〔患者自身の病気に対する理解の程度を含め、任意入院が行われる状態にないと判断した理由について記載すること。〕</p>	
----------------------------------------------------------------------------------------	--

<p>今後の治療方針（患者本人の病識や治療への意欲を得るための取組等を含む。）</p>	
---------------------------------------------	--

<p>本更新に係る診察の 年 月 日</p>	<p>年 月 日</p>
----------------------------	--------------

<p>更新が必要と診断した精神保健指定医氏名</p>	<p>署名</p>
----------------------------	-----------

<p>退院に向けた取組の 状 況</p> <p>（選任された退院後生活環境相談員との相談状況、地域援助事業者の紹介状況、医療保護入院者退院支援委員会での審議内容等について）</p>	<p>医療保護入院者退院支援委員会での審議が行われた年月日（ 年 月 日）</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------

<p>今回の更新の直前の入院又は更新に同意をした家族等</p>	<p>氏名</p>	(男・女)	続柄	生年 月日	年 月 日生
		(男・女)	続柄	月日	年 月 日生
	<p>住所</p>	都道 府県	郡市 区	町村 区	

- 1 配偶者 2 父母（親権者である・ない） 3 祖父母等
- 4 子・孫等 5 兄弟姉妹 6 後見人又は保佐人
- 7 家庭裁判所が選任した扶養義務者（選任年月日 年 月 日）
- 8 市町村長

今回の更新に同意をした家族等 (上記の家族等と同じ場合は記載不要)	氏名	(男・女)	続柄	生年 月日	年 月 日生
		(男・女)	続柄		年 月 日生
	住所	都道 府県	郡市 区	町村 区	
		都道 府県	郡市 区	町村 区	
	1 配偶者 2 父母(親権者である・ない) 3 祖父母等 4 子・孫等 5 兄弟姉妹 6 後見人又は保佐人 7 家庭裁判所が選任した扶養義務者(選任年月日 年 月 日) 8 市町村長				
法第33条第8項の規定により家族等の同意を得たものとみなした場合は、その旨等	<input type="checkbox"/> 法第33条第8項の規定により、家族等の同意を得たものとみなした。				
	家族等へ通知を发出した日 年 月 日 家族等に示した回答期限 年 月 日 (回答期限は、通知を发出した日から2週間を経過した日であることに留意)				
	通知をした家族等との連絡等の記録(直近2件) 年 月 日 ( <input type="checkbox"/> 面会 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ) 年 月 日 ( <input type="checkbox"/> 面会 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他 ( ) )				

審査会意見	
岐阜県の措置	

## 記載上の留意事項

- 内は、今回の更新に当たって行われた精神保健指定医の診察に基づいて記載すること。
- 今回の入院年月日の欄は、今回貴病院に入院した年月日を記載し、入院形態の欄にそのときの入院形態を記載すること。(特定医師による入院を含む。その場合は、「第33条第1項・第3項入院」、「第33条第2項・第3項入院」又は「第33条の6第2項入院」と記載すること。)なお、複数の入院形態を経ている場合には、順に記載すること。
- 本更新後の入院期間の欄は、医療保護入院者退院支援委員会で審議された入院期間に留意した上で、当該医療保護入院から6月を経過するまでの間は3月、入院から6月を経過した後は6月を上限とした期限を定めて記載すること。
- 現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等及び現在の状態像の欄は、一般にこの書類作成までの過去数か月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。
- 更新が必要と診断した精神保健指定医氏名の欄は、精神保健指定医自身が署名すること。
- 退院に向けた取組の状況の欄については、今回の更新に当たって医療保護入院者退院支援委員会の審議が行われた年月日を記載すること。また、令和5年11月27日付け障発1127第7号「措置入院者及び医療保護入院者の退院促進に関する措置について」(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知)の別添様式2「医療保護入院者退院支援委員会審議記録」の写しを添付すること。その上で、
  - 退院後生活環境相談員との最初の相談を行った時期やその後の相談の頻度等
  - 地域援助事業者の紹介の有無や紹介した地域援助事業者との相談の状況等
  - 医療保護入院者退院支援委員会での審議内容等
について記載すること。
- 家族等の氏名欄は、親権者が両親の場合は、原則として2人目を記載すること。



- 8 家族等の住所欄は、親権者が両親で住所が異なる場合に2つ目を記載すること。
- 9 法第33条第8項の規定により、家族等の同意を得たものとみなす場合は、「法第33条第8項の規定により、家族等の同意を得たものとみなした。」にレ点を入れることとし、同意書の添付は不要であること。ただし、法第33条第6項の規定による入院の更新に関する同意の通知をした時から更新するまでの間に、当該通知に係る家族等が、
- ① 法第5条第2項に規定する家族等に該当しなくなつたとき。
  - ② 死亡したとき。
  - ③ 意思を表示できないとき。
- のいずれかに該当すると把握した場合には、同意を得たものとみなすことができないことに留意すること。また、同意を得たものとみなす場合は、通知をした家族等との連絡等の記録（直近2件）の欄に、直前の入院期間中、通知をした家族等と直近2回の連絡を取つた際の年月日及び手段について記載すること。（通知をした家族等が親権者の両親である場合は、父又は母のいずれかと直近2回の連絡を取つた際の年月日及び手段について記載すること。）
- 10 今回の更新に同意をした家族等の欄に記載がある場合は、法第33条第8項の規定による同意を得たものとみなさないことに留意すること。
- 11 選択肢の欄は、それぞれ該当する算用数字、ローマ数字等を○で囲むこと。

第9号様式 (第9条関係)

応 急 入 院 届

年 月 日

岐阜県知事 様

病 院 名

所 在 地

管 理 者 名

下記の者が応急入院しましたので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条の6第5項の規定により届け出ます。

応 急 入 院 者	フリガナ 氏名	(男・女)		生年 月日	年 月 日 (満 歳)
	住所	都道 府県	郡市 区	町村 区	
依頼をした者の 入院者との関係					
入 院 年 月 日	年 月 日	午前・午後		時	分
第34条の規定に よる移送の有無	有り		なし		
病 名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ( )	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ( )	3 身体合併症		
応急入院の必要性 (患者自身の病気に対する理解の程度を含め、任意入院が行われる状態がないと判断した理由について記載すること。)					
病 状 又 は 状 態 像 の 概 要					
応 急 入 院 を 採 っ た 理 由 (家族等の同意を得ることのできなかつた理由を含め、応急入院を採った理由について記載すること。)					
入 院 を 必 要 と 認 め た 精 神 保 健 指 定 医 氏 名	署名				

記 載 上 の 留 意 事 項

- 1 内は、精神保健指定医の診察に基づいて記載すること。ただし、第34条の規定による移送が行われた場合には、この欄は、記載する必要はないこと。
- 2 入院を必要と認めた精神保健指定医氏名の欄は、精神保健指定医自身が署名すること。

別記第八号様式中「~~「精神保健法」を「精神保健法」に改める。~~

別記第九号様式を次のように改める。

「特定医師による応急入院（第33条の7第2項）  
医師による応急入院届及び記録」

管理者名  
下記の者が、特定医師の診察の結果、  
者福祉に関する法律第33条の6第5項の

管理者名  
応急入院しましたので、精神保健及び精神障害  
規定により届け出ます。

「又は神経科」  
「事後審査委員会意見は、記録の場合について記載する」  
「事後審査委員会意見の欄は、岐阜県知事への届出時点では記入を要しないが、本様  
式を院内で記録として保存する際には、記載しておく」  
「又は」

第11号様式 (第10条関係)

## 医療保護入院等のための移送に関する診察記録票

フリガナ 氏 名	(男・女)	生年 月 日	年 月 日 (満 歳)
病 名	1 主たる精神障害 I C Dカテゴリー ( )	2 従たる精神障害 I C Dカテゴリー ( )	3 身体合併症
生活歴及び現病歴 (推定発病年月、 精神科受診歴等を 記載すること。)	(陳述者氏名 続柄 )		
現在の病状 又は状態像	〈現在の精神症状〉 I 意識 1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他 ( ) II 知能 (軽度障害、中等度障害、重度障害) III 記憶 1 記銘障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他 ( ) IV 知覚 1 幻聴 2 幻視 3 その他 ( ) V 思考 1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考 5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 ( ) VI 感情・情動 1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他 ( ) VII 意欲 1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止 6 無為・無関心 7 その他 ( ) VIII 自我意識 1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 ( ) IX 食行動 1 拒食 2 過食 3 異食 4 その他 ( ) 〈その他の重要な症状〉 1 てんかん発作 2 自殺念慮 3 物質依存 ( ) 4 その他 ( )		

	〈問題行動等〉 1 暴言 2 徘徊 3 不潔行為 4 その他 ( )	
	〈現在の状態像〉 1 幻覚妄想状態 2 精神運動興奮状態 3 昏迷状態 4 統合失調症等残遺状態 5 抑うつ状態 6 躁状態 7 せん妄状態 8 もうろう状態 9 認知症状態 10 その他 ( )	
緊急性の判定	1 直ちに入院が必要	2 緊急を要しない
本人の同意	1 可能	2 不可能
判定理由		
判定結果	1 医療保護入院又は応急入院が必要 2 不必要	
移送手続における 行動制限	行動制限の有無	1 行動制限を行った 2 行わなかった
	症状	
	日時	月 日 時 分 ~ 時 分
	告知	1 告知を行った 2 行わなかった (理由: )
その他の特記事項		
以上のとおり診断する。 年 月 日 精神保健指定医氏名 署名		

記載上の留意事項

平成20年3月31日以前に広告している神経科における受診歴を精神科受診歴等を含むこととする。

第12号様式 (第11条関係)

措置入院者の定期病状報告書

年 月 日

岐阜県精神保健福祉センター所長 様

病 院 名  
所 在 地  
管 理 者 名

下記の措置入院者について、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第38条の2第1項の規定により報告します。

措 置 入 院 者	フリガナ		生年月日	年 月 日生 (満 歳)
	氏 名	(男・女)		
	住 所	都道 府県	郡市 区	町村 区
措 置 年 月 日	年 月 日	今回の入院年月日	年 月 日	入 院 形 態
前回の定期報告年月日	年 月 日			
病 名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ( )	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ( )	3 身体合併症	
過去6か月間(措置入院後3か月の場合は過去3か月間)の仮退院の実績	計 回 延日数 日			
過去6か月間(措置入院後3か月の場合は過去3か月間)の治療の内容とその結果  〔問題行動を中心として記載すること。〕				
今後の治療方針(再発防止への対応を含む。)				
処遇、看護及び指導の現状	隔 離	i 多用 ii 時々 iii ほとんど不要		
	注意必要度	i 常に嚴重な注意 ii 随時一応の注意 iii ほとんど不要		
	日常生活の介助指導必要性	i 極めて手間のかかる介助 ii 比較的簡単な介助と指導 iii 生活指導を要する iv その他 ( )		
退院に向けた取組の状況 (選任された退院後生活環境相談員との相談状況、地域援助事業者の紹介状況等について)	選任された退院後生活環境相談員 ( )  地域援助事業者の紹介について本人や家族等からの求め又は必要性の有無 (あり・なし) 上記で「あり」の場合の紹介状況 ( )			

重大な問題行動 (Aはこれまでの、Bは今後おそれる問題行動)		現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像 (該当のローマ数字及び算用数字を○で囲むこと。)
1 殺人	A B	<p>〈現在の精神症状〉</p> <p>I 意識</p> <p>1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう</p> <p>4 その他 ( )</p> <p>II 知能 (軽度障害、中等度障害、重度障害)</p> <p>III 記憶</p> <p>1 記銘障害 2 見当識障害 3 健忘</p> <p>4 その他 ( )</p> <p>IV 知覚</p> <p>1 幻聴 2 幻視 3 その他 ( )</p> <p>V 思考</p> <p>1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考</p> <p>5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念</p> <p>8 その他 ( )</p> <p>VI 感情・情動</p> <p>1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分</p> <p>4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進</p> <p>7 その他 ( )</p> <p>VII 意欲</p> <p>1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷</p> <p>5 精神運動制止 6 無為・無関心</p> <p>7 その他 ( )</p> <p>VIII 自我意識</p> <p>1 離人感 2 させられ体験 3 解離</p> <p>4 その他 ( )</p> <p>IX 食行動</p> <p>1 拒食 2 過食 3 異食 4 その他 ( )</p> <p>〈その他の重要な症状〉</p> <p>1 てんかん発作 2 自殺念慮 3 物質依存 ( )</p> <p>4 その他 ( )</p> <p>〈問題行動等〉</p> <p>1 暴言 2 徘徊 3 不潔行為</p> <p>4 その他 ( )</p> <p>〈現在の状態像〉</p> <p>1 幻覚妄想状態 2 精神運動興奮状態 3 昏迷状態</p> <p>4 統合失調症等残遺状態 5 抑うつ状態 6 躁状態</p> <p>7 せん妄状態 8 もうろう状態 9 認知症状態</p> <p>10 その他 ( )</p>
2 放火	A B	
3 強盗	A B	
4 不同意性交等	A B	
5 不同意わいせつ	A B	
6 傷害	A B	
7 暴行	A B	
8 恐喝	A B	
9 脅迫	A B	
10 窃盗	A B	
11 器物損壊	A B	
12 弄火又は失火	A B	
13 家宅侵入	A B	
14 詐欺等の経済的な問題行動	A B	
15 自殺企図	A B	
16 自傷	A B	
17 その他 ( )	A B	

診察時の特記事項	
本報告に係る診察年月日	年 月 日
診 察 し た 精神保健指定医氏名	署名

審 査 会 意 見	
岐 阜 県 の 措 置	

記 載 上 の 留 意 事 項

1 内は、精神保健指定医の診察に基づいて記載すること。

- 2 今回の入院年月日の欄は、今回貴病院に入院した年月日を記載し、入院形態の欄にそのときの入院形態を記載すること。(特定医師による入院を含む。その場合は、「第33条第1項・第3項入院」、「第33条第2項・第3項入院」又は「第33条の6第2項入院」と記載すること。) なお、複数の入院形態を経ている場合には、順に記載すること。
- 3 重大な問題行動の欄には、Aはこれまでに認められた問題行動を、Bは今後おそれのある問題行動を指し、該当する全ての算用数字、A及びBを○で囲むこと。
- 4 現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等及び現在の状態像の欄は、一般にこの書類作成までの過去数か月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。
- 5 診察時の特記事項の欄は、被診察者の受診態度、表情、言語的及び非言語的なコミュニケーションの様子、診察者が受ける印象等について記載すること。
- 6 診察した精神保健指定医氏名の欄は、精神保健指定医自身が署名すること。
- 7 退院に向けた取組の状況の欄については、退院後生活環境相談員との最初の相談を行った時期やその後の相談の頻度等や、地域援助事業者の紹介の有無や紹介した地域援助事業者との相談の状況等について記載すること。
- 8 選択肢の欄は、それぞれ該当する算用数字、ローマ数字等を○で囲むこと。

第13号様式 削除



第14号様式 (第13条関係)

任意入院者の定期病状報告書

年 月 日

岐阜県精神保健福祉センター所長 様

病院名  
所在地  
管理者名

下記の任意入院者について、岐阜県精神科病院に入院中の任意入院者の症状等の報告に関する条例第2条の規定により報告します。

任意入院者	フリガナ			生年月日	年 月 日生 (満 歳)
	氏 名	(男・女)			
	住 所	都道 府県	郡市 区	町村 区	
任意入院年月日	年 月 日		今回の入院年月日	年 月 日	
			入院形態		
前回の定期報告年月日	年 月 日				
病 名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ( )	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ( )	3 身体合併症		
過去12か月間の治療の内容とその結果 (過去12か月間の病状又は状態像の経過の概要並びに過去12か月間に行動制限が行われた際は、その必要性についても記載すること。)					
症 状 の 経 過	1 悪化傾向 2 動揺傾向 3 不変 4 改善傾向				
任意入院継続の必要性 (通院へ変更ができない理由について具体的に説明すること。)					
今 後 の 治 療 方 針					
(現在の精神症状)	I 意識 1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他 ( ) II 知能 (軽度障害、中等度障害、重度障害) III 記憶 1 記銘障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他 ( ) IV 知覚 1 幻聴 2 幻視 3 その他 ( ) V 思考				

<その他の重要な症状> <問題行動等> <現在の状態像>	1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考 5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 ( )
	VI 感情・情動 1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他 ( )
	VII 意欲 1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止 6 無為・無関心 7 その他 ( )
	VIII 自我意識 1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 ( )
	IX 食行動 1 拒食 2 過食 3 異食 4 その他 ( )
	1 てんかん発作 2 自殺念慮 3 物質依存 ( ) 4 その他 ( )
	1 暴言 2 徘徊 3 不潔行為 4 その他 ( )
	1 幻覚妄想状態 2 精神運動興奮状態 3 昏迷状態 4 統合失調症等残遺状態 5 抑うつ状態 6 躁状態 7 せん妄状態 8 もうろう状態 9 認知症状態 10 その他 ( )

本報告に係る診察年月日 年 月 日

診 察 し た 署 名  
 主 治 医 氏 名

審 査 会 意 見	
岐 阜 県 の 措 置	

記 載 上 の 留 意 事 項

- 1 内は、主治医の診察に基づいて記載すること。
- 2 今回の入院年月日の欄は、今回貴病院に入院した年月日を記載し、入院形態の欄にそのときの入院形態を記載すること。(特定医師による入院を含む。その場合は、「第33条第1項・第3項入院」、「第33条第2項・第3項入院」又は「第33条の6第2項入院」と記載すること。)なお、複数の入院形態を経ている場合には、順に記載すること。
- 3 入院後の診察により精神症状が重症であつて、かつ、慢性的な症状を呈することにより入院の継続が明らかに必要な病状であること等により1年以上の入院が必要であると判断される場合には、「任意入院継続の必要性」の欄にその旨を記載すること。
- 4 入院時より6か月の間に、開放処遇が制限された者の6か月経過時の報告においては、「過去12か月間」とあるのは、「過去6か月間」と読み替えること。
- 5 現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等及び現在の状態像の欄は、一般にこの書類作成までの過去数か月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。
- 6 診察した主治医氏名の欄は、主治医自身が署名すること。
- 7 選択肢の欄は、それぞれ該当する算用数字、ローマ数字等を○で囲むこと。

別記第五十五号様在中 「3 請求の趣旨及び理由」を 「3 患者が入院している精神科  
病院の名称」に改める。 4 請求の趣旨及び理由

附 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の岐阜県精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則の規定により作成されている用紙（以下「旧用紙」という。）がある場合においては、この規則による改正後の岐阜県精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則の規定にかかわらず、旧用紙に所要の調整をしたものによることができる。

令和六年四月一日発行

発行者  
発行所

岐阜市藪田南二丁目一番一号  
岐阜県庁

編

集

岐阜市三輪ふりとびあ十三  
岐阜文芸社